

一般質問

掲載の8項目を含め13人の議員が38項目の質問を行い町長の考えをたどしました。

駅バリアフリー

工事はどうなっているのか

十月から着手

質問 海田市駅構内のエレベーター設置とホームの段差解消工事は、現在どのような状況になっているのか。

答弁 JRが行う駅構内のエレベーター設置と段差解消工事は、九月中旬に詳細設計が完了する。
十月から呉線側のエレベーター設置工事と段差解消工事などに着手する。



早くやれ!!

駅南口東地区の活性化対策を

関係者と協議を進める

質問 海田市駅南口は、まちの玄関口として重要な拠点である。

答弁 権利者との調整を行い、商工会などの関係者と協議を進めながら、駅南口のまちづくりを推進する。

駅前のにぎわいを創り出すために、計画を進める上で商工会やJRなどの関係機関との協議はするのか。

活性化が待たれます

まちづくり



ガラスや天井材も強化せよ

国の基準に基づいて実施する

質問 学校施設の耐震化工事は建物だけでなく、校舎内のガラスや天井材も強化して、子どもたちに被害が出ないようにすべきではないか。

答弁 今後実施する耐震補強工事は、国の基準に基づいて実施していく予定で、ガラスや天井材についても、それに従って強化する。



海田南小学校 1号館

学校耐震化

町民への伝達方法は

防災行政無線で行う

質問 緊急地震速報は、震度5弱以上の強い揺れが予測される場合に、テレビ・ラジオなどを通して自動的に瞬時放送される。

答弁 町民の方に対し、一斉に伝達するために、防災行政無線を使うことにしている。現在計画している防災行政無線の設備更新に併せて、緊急地震速報の導入を図っていく。

緊急地震速報



役場庁舎の屋上にある衛星通信用パラボラアンテナです



昭和40年、50年に出版された体験文集

平和教育

被爆体験の文集の活用を

役立てるように検討する

【質問】 世界には二万七千発の核兵器が存在し、人類の生存を脅かしている。

【回答】 昭和四十年、五十年に「海田町原爆被害者の会」が体験文集を出版しているので、現在のところ町としての出版は考えていないが、子どもたちの平和教育に役立てることについては検討する。

そこで、町が主導で被爆の体験集を出版し、子どもたちの平和教育に役立ててはどうか。

障害者福祉

体制強化を

専門職を養成している

【質問】 障害者自立支援法では、利用に応じた負担が必要になり、生活や就労、将来の展望に大きな問題を投げかけている。

【回答】 来年度から福祉事務所に設置するので、事務の体制の見直しや専門職としてのケースワーカーなどの養成を継続的に行う。

また、障害者の交流の場などを広報を通して紹介する。

町としても福祉行政の体制強化や専門職員の配置をしてはどうか。



現在の福祉課窓口



廿日市市の証明書自動交付機

電子自治体

今後の展望は

早期実現を目指す

【質問】 電子自治体のシステムは、住民の利便性を大きく向上させる行政手続きのオンライン化の推進が最も大きな課題である。

【回答】 平成十八年度に電算システムの改修を実施し、業務の簡素化や効率化とともにセキュリティの強化を行っている。

今年度、図書館蔵書の検索・予約と電子入札のシステムが稼働をはじめ。来年四月には電子申請システムが稼働し、電子申告システムも来年度からの導入を検討している。公共施設の予約システムについては早期に実現したいと考えている。

ふるさと納税

どのような取組みをするのか

広報やホームページでPRしていく

【質問】 この制度は、ふるさとに貢献したいという納税者の思いを活かすために導入され、寄付者が寄付先を自由に選べる特徴があり、全国の自治体では少しでも多くの寄付を募るためのPR合戦が始まっている。

【回答】 寄付を「明日を担う子どもを育てる事業」に活用することを示し、広報やホームページでお知らせしている。

また、県人会員向けの広報誌「東京広島県人会ニュース」の中でPRを行い、海田町への関心を高めていく。



君たちのために使います